



ふくやまで  
服づくりを学ぶ

Hito  
to  
iko

ヒト  
ト  
イト

Hito  
to  
iko

ヒト  
ト  
イト

福山の服づくりを学ぶ  
カリキュラム

江戸時代から綿花の栽培が奨励され、備後絣（びんごがすり※）を主軸として産業が発達した広島県福山市の北部エリア。私たち「繊維産地継承プロジェクト委員会」は、この土地のものづくりの大切な文化や思いを次の世代に引き継ぐべく、地元の縫製工場や繊維の企業が集まってできたチームです。

かつては絣を織る織機の音があちこちの路地に響いていたというこのエリアは、今では繊維に関連する工場や企業が集まり、産地を形成しています。ここで働く私たちが得意とするのは、デニムやワークウエアなどに代表される丈夫な厚い生地を扱った服づくり。絣時代のなごりを受けて分業体制が根付いていたことから、裁断、縫製、釦や釦打ち、染色・洗い加工、プレス仕上げ…という風に、1枚の服を仕立てる過程をそれぞれの専門工場職人たちが手がけています。そのものづくりには他の土地にはない味わい深さがあると言われ、国内外の多くのメーカーやブランドに信頼されてきました。

私たち「繊維産地継承プロジェクト委員会」は、備後絣から始まった繊維産地の歴史や、現代の職人たちの手から生みだされる製品の独特な味わいを一人でも多くの人に知ってもらい、またこの地域で1着の服をつくるために練り上げられた知恵や多種多様な技術を伝えるためのカリキュラムを組み立てています。

※生地名称 日本三大絣のひとつ。

本研修制度は、備後エリアで繊維に携わる方であれば欠くことのできない存在であるデニムパンツを作ることをベースとし、繊維業に携わる上必ず必要となる知識を学ぶことができるものです。

期間は1か月間とし、一般的なデニムのパンツを作れるようになるまでの専門的な縫製技術や各工程の細かな解説を行います。実技の合間には、デニム縫製に関する専門的知識が学べる座学や工場見学なども予定しています。

開講期間	2019年9月2日（月）～10月1日（火）土日祝日除く毎日
講義場所	広島県福山市新市町エリア
講義時間	1日3時間 9:00～12:00（うち休憩有り）※午後は自習も可
定員	4名 ※第2回講義期間は初冬を予定しております。受講者多数の場合は審査がございます。
企業法人研修	50,000円（税込）/1名

※法人・団体での受講は別途お問い合わせください。

お問合せ：繊維産地継承プロジェクト委員会事務局（0847-54-2320 黒木）

本プロジェクトは福山市「担い手育成支援事業」の助成を受けて活動しているものです。